

2023年12月10日 礼拝説教要旨

ハイデルベルク信仰問答講解説教Ⅱ 26 「聖なる洗礼」

エゼキエル36：25～27、ヨハネ3：5～8

問69 あなたは聖なる洗礼において、十字架上でキリストの唯一の犠牲があなたの益になることを、どのように思い起こしましたか、確信させられるのですか。

答 次のようにです。キリストがこの外的な水の洗いを制定された時約束なさったことはわたしがわたしの魂の汚れ、すなわちわたしのすべての罪を、この方の血と霊とによって確実に洗っていただける、ということ。そしてそれは日頃体の汚れを落としているその水で、わたしが外的に洗われるのと同じくらい確実である、ということです。

問いの部分が、すでに洗礼の急所を言い表しています。「十字架でのキリストの唯一の犠牲」これは二千年前、イエスさまが十字架で死んでくださった過去の出来事です。そのことが「あなたの益になる」と言います。二千年前のイエスさまの十字架が、時間を超えて、今のわたしの救いに効力を持つのです。そのことを可能にするのが洗礼です。

ここに「思い起こし」という言葉があります。この言葉は教会の礼拝においてとても重要な意味を持つ言葉になりました。イエスさまが聖餐を制定された時に「わたしの記念としてこれを行いなさい」と言われました。この「記念」が「思い起こす」ことです。これはただ昔を回顧する、郷愁に耽ることではなく、それが出来事になることです。神さまの救いが過去の出来事、また他人事では意味がありません。今を生きるわたしの救いにならなければならない。そのための洗礼であり、聖餐なのです。そういう意味で「追体験」とも言われます。洗礼においてイエスさまの救いの出来事をわたしたちは豊かに体験することができるのです。

具体的にそれはどういう体験でしょう。問69では、それが「洗い」であることが言われています。洗礼では水を使用します。わたしたちも普段の生活で毎日水を使います。家に帰ってきたら手洗いをします。お風呂に入る。洗い物をするときも洗濯もそうでしょう。この季節、大掃除をする人も多いと思います。空ぶきをして落ちない汚れは水拭きをします。そのようにわたしたちは日頃、水を使って汚れを落としています。その同じ水が洗礼でも使われます。水に何か特別な力があるわけではありません。普通の水道水です。洗礼もいろいろ種類があります。「浸礼」と言って全身を水に浸す仕方をする教会もあります。洗礼槽というプールが礼拝堂に備え付けられている教会もあります。また川で、あるいは湖で、熊本では江津湖で洗礼を受けたという話を聞きます。わたしたちの教会のように「滴礼」と言って、頭に水を滴らせる仕方もあります。何れにしても、大切なことは、洗礼式の時にわたしたちはその水を見て、イエスさまによってわたしの魂の汚れ、罪の汚れが洗い流されたことを知る。受洗者はもちろん、これを見ている会衆一人一人もこのことを追体験していきます。

ある文化人類学者の方が新聞で「みそぎ」について次のように書いていました。「みそぎに不可欠な要素の一つが、自分が犯したことへの認識です。自分の本質が劣化してしまったと心の底から、恐怖を伴うほど強く認識することで初めてみそぎは有効になる。その認識をもとに、自らすすんで、かつての自分の本質を取り戻すために行う儀礼がみそぎです」と。これはキリスト教の信仰で言えば、罪の自覚ということでしょう。自分の魂、本質が罪に汚れていることを認識することが洗礼において重要です。そうでなければ自分はきれいだが、洗っていただく必要はないということになる。それではせっかく洗礼の水を見ても何とも思わないでしょう。

わたしたちは自分が神さまに背いたままの状態になっていることを思い起こさなければなりません。今起こっている戦争も、世の中にかかる様々な社会悪もすべて罪によって人間の本質が汚れてしまっている、劣化してしまっていることに原因があります。その本質的な汚れを洗い落としていただかなければ、いくら表面的に取り繕っていても意味はありません。イエスさまは、この本質的な汚れ、しつこい罪の汚れをご自身の血と霊とによって洗ってくださいました。そのようにして失われた人間の本質を取り戻してくださるのです。それが神さまのかたち、似姿としての本来の自分を回復する唯一の手立てであります。

問70 キリストの血と霊とによって洗われるとは、どういうことですか。

答 それは、十字架での犠牲においてわたしたちのために流されたキリストの血のゆえに、恵みによって、神からの罪の赦しを得る、ということです。さらに、聖霊によって新しくされ、キリストの一部分として聖別される、ということでもあります。それは、わたしたちが次第次第に罪に死に、いっそう敬虔で潔白な生涯を歩むためなのです。

この洗礼の洗い、イエスさまの血と霊によって洗われることについて信仰問答はさらに深めて説明しています。それは罪の赦しと再生です。そこに「みそぎ」以上のことがあります。イエスさまの十字架の犠牲によって、十字架で流されたイエスさまの血によってわたしたちは罪を贖われ赦されました。それは罪に死ぬことを意味しています。パウロは「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られた」（ローマ3：4）と言います。古い罪の体が死ぬ。罪との決別が起こります。

けれども、ただ罪に死んで終わりではありません。そこからの再生があります。「聖霊によって新しくされ、キリストの一部分として聖別される」とあります。ヨハネ福音書では「だれでも水と霊とによって生まれなければ神の国に入ることはできない」（ヨハネ3：5）とありました。聖霊は創造する神さまご自身の働きです。洗礼のとき聖霊によってわたしたちはイエスさまの身体と一つになります。その身体の一部として再創造されるのです。それはわたしたちが「次第次第に罪に死に、いっそう敬虔で潔白な生涯を歩む」新しい人生のスタートとなります。誰にでも決して拭いきれない人生の汚点があります。思い起こすたびに心苦しくなるような経験があるでしょう。けれどもイエスさまの十字架とよみがえりによって、罪と決別した全く新しい人生がわたしたちには備えられています。洗礼がそのような新しい人生を可能にするのです。

天の父よ。どんなに洗い流そうとしても、振り払おうとしても、振り払うことができないこの罪の汚れ、魂の汚れをあなたはただイエスさまの血と霊によって洗い清めてくださる幸いを感謝いたします。その見えるしるしとして洗礼が備えられました。どうぞ洗礼を受けたわたしたちがこの恵みを自覚して、それにふさわしく、一層、敬虔で潔白な人生をあなたによって歩むことができますように。主の御名によって祈ります。アーメン。